

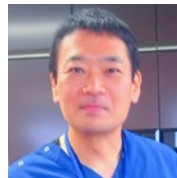
放射線科

# 放射線診断科

TEL 022-717-7880(外来)

完全予約制

科長 高瀬 圭



診療科WEB



外来担当医表

最新の医療機器を用いた画像診断業務と、血管造影や超音波等の画像技術を用いて治療を行うインターベンショナル・ラジオロジー(IVR)を行っています。

画像診断業務は単に画像を読むことではありません。患者さん毎に必要な医学的情報を個別判断しながら、放射線被曝や造影剤・磁場の負担を必要最低限に抑え、放射線技師との協力で最適化しています。CT、MRI、一般核医学検査およびPET-CTは、年間約7万2千件の全てを当科が管理・読影しています。依頼に応じて単純X線撮影の読影、超音波検査を施行しています。

IVRは、経血管的な腫瘍や出血の塞栓術、動静脈奇形や内臓等の動脈・静脈瘤塞栓術、腎動脈や四肢末梢、透析シャント、肺動脈等の血管形成術、頭頸部癌の超選択的抗癌剤動注療法、先天性心疾患等、全身のIVRを行っています。副腎静脈サンプリングは世界一の実績です。CTガイド下や超音波ガイド下に行なう経皮的治療では、生検(肺、骨軟部等)、膿瘍ドレナージ、ラジオ波焼灼術に加え、東北で唯一となる腎癌の凍結療法を行っています。いずれも数mmの傷で施行できる低侵襲な治療です。救急IVRは、365日体制で、外傷、産後出血、術後出血、消化管出血等に対応しています。

## 主な対象疾患

画像診断の対象となる疾患全般

各種のインターベンショナル・ラジオロジー(IVR)の対象となる疾患全般

— IVRとはカテーテル等を用いた血管内治療や画像ガイド下に行なう低侵襲治療です —  
例：小径腎癌(凍結療法)、内臓動脈瘤、体幹部(肺・腎等)肺・内臓・四肢の動静脈奇形、難治性喀血、各種画像ガイド下生検、各種腫瘍の塞栓術、ステントグラフト留置後のエンドリーク、透析シャントトラブル、肝細胞癌、四肢の閉塞性動脈硬化症、椎体圧迫骨折、動注療法、外傷、出血、静脈サンプリング、胆道疾患、原発性アルドステロン症(ラジオ波焼灼治療) etc